



市議会だより

市議会ホームページのご案内

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/sigikai/>

市議会だよりや会議録、インターネット中継などがご覧いただけます。



5年ぶりの市歌斉唱

6月5日の本会議開会前に、5年ぶりに市歌の斉唱が行われました。
 ※合唱は「北九州青い空合唱団」の皆さんです。

市歌斉唱の様子は動画をご覧ください。



市歌の楽譜や歌詞、音声データは市のホームページで公開しています。



1面	議長の定例会見、賛否一覧 など
2面 3面	本会議での質疑・質問と答弁
4面	本会議での質問と答弁、請願・陳情の審議結果、お知らせ など

6月定例会が開かれました

6月定例会が令和7年6月5日から6月13日まで9日間の会期で開かれました。

市長から10件の議案が提出され、審議の結果、10件を原案のとおり決定しました。また、議員から提出された議案は12件で、うち5件を可決しました。

議長の定例記者会見を始めました

福岡県内で初

開かれた議会の実現を目指して、令和7年6月定例会から議長の定例記者会見を実施することとしました。

北九州市議会だけでなく、福岡県内の議会では初の取組です。

市民の皆さまに市議会のことをもっと知っていただきたいと考えています。

記者会見の様子はこちらからご覧ください。



令和7年6月定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

詳細は、市議会ホームページをご覧ください。
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001149390.pdf>



種別	件名	議決結果	自民・無	公明党	市民と	共産党	北九州党	緑の風	まる戸八	維新の会	変革成長
市長が提出した議案	市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市税条例の一部改正／地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正／市立思永中学校温水プール使用料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の認定、変更及び廃止／戸畑枝光線(戸畑牧山間)新設に伴う明治町架道橋付近函体推進工事委託協定締結／土地の取得／システム障害による損害賠償に関する和解	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和7年度補正予算	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
人事	固定資産評価員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員が提出した議案	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書／子どもたちの豊かな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進に係る意見書／民生委員・児童委員の担い手確保を求める意見書／事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	日本学術会議の特殊法人化の撤回を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	○	×	×	×
	消費税率の引下げを求める意見書	否決	×	×	×	○	○	○	×	○	○
	今国会で選択的夫婦別姓制度の実現を求める意見書／被爆80年に当たり核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書／最低賃金法の改正と中小企業等への支援の拡充・強化を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	○	×	×	×
能動的サイバー防御法の廃止を求める意見書／GX推進法及びGX基本方針の見直しと、真に持続可能な脱炭素政策の実施を求める意見書	否決	×	×	×	○	×	×	×	×	×	

【各会派の一般的な名称】 自民・無：自民党・無所属の会 公明党：公明党 市民と：市民とともに北九州 共産党：日本共産党 北九州党：北九州党 緑の風：緑の風 まる戸八：まるまる戸八会 維新の会：日本維新の会 変革成長：変革と成長 ○：賛成 ×：反対

本会議での質疑・質問と答弁

定例会期間中の質疑・質問と答弁の動画はこのQRコードからご覧いただけます。



この市議会だよりでは、本会議での質疑・質問と答弁の要約したものを掲載しています。詳細な会議録は、9月上旬以降から、市立文書館、中央図書館、門司・小倉南・若松・八幡・八幡西・戸畑図書館、市議会事務局でご覧いただけます。また、市議会のホームページには、8月下旬頃に会議録(速報版)を掲載します。なお、市議会・市ホームページの会議録検索システムでの閲覧は、9月下旬頃からとなります。

会派質疑・一般質問

6月5日から10日までに行われた会派質疑と一般質問の一部を抜粋して掲載しています。掲載記事の順番は発言順で、掲載している時間(分)は答弁を含む時間です。

各議員のQRコードから、質疑と答弁の動画がご覧いただけます。

6月5日 会派質疑



高橋 都
日本共産党

60分

物価高に対する生活者・生産者への支援について

農林水産物直売所・朝市クーポン券が使えるのは市内で14カ所、プレミアム商品券は1万円単位の購入と支援を受けられる市民は限定的である。下水道料金減免等、全世帯に行きわたる支援を行うべき。上下水道 上下水道事業は料金収入で施設の維持管理等の費用を賄うという面があり、健全な経営と安全安心な水環境のため料金減免は考えていない。生活者・生産者支援については必要な対策を検討・実施していきたい。

6月5日 一般質問



吉村太志
自民党・無所属の会

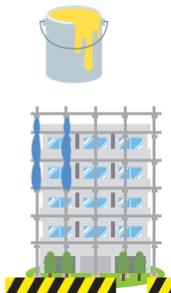
30分

学校施設の大規模改修について

今年度予定していた守恒小学校と篠崎中学校の大規模改修工事が、国の補助金が不採択となったため、実施できなくなったことについて、その経緯と、改修工事の今後の方向性について見解を伺う。

教育長

今年度は国の補助金予算の総額が減額となり、一部の申請事業が不採択となった。国に対しては他の政令市とともに緊急要望を行う準備を進めており、着実な補助金の確保に努め、大規模改修を進めていきたい。



鷹木研一郎
自民党・無所属の会

30分

折尾地区総合整備事業について

来年完成の折尾駅南側駅前広場民間企業3社と市が協定を結び90億円を投資する「折尾Xcite」事業が発表された。福岡市から本市への移住が進むよう、折尾地区の利便性の宣伝に取組むべき。

都市整

折尾駅は博多駅から特急で30分と近く、非常に高いポテンシャルを有している。今後折尾Xciteを広くPRすることは重要と考えており、博多駅へのポスター掲示を、まずは、JR九州に相談してみたい。



三宅まゆみ
市民とともに北九州

30分

外国籍生徒の教育について

昨今の人材不足で家族を連れて来る外国人労働者が増えている。子どもたちは日本の学校に通うが、日本語習得が困難であり、先生方の負担も増している。外国籍の生徒への教育支援について尋ねる。

教育長

専任教員や協力員を配置し、全学的に指導体制の充実を図るほか、児童生徒と保護者の不安や悩みが解消するよう取組等を実施している。引き続き、全ての子どもの可能性を引き出す教育の実現に向け取組む。



山田大輔
市民とともに北九州

30分

今後の地域交通の在り方について

スマートフォンプリアや電話で簡単に呼ぶことができるA-オンデマンドバスは、高齢者や移動に困る地域の支えとして効果的である。本市における実証導入やモデル地域での検証の予定はあるか。

都市整

同バスは需要に応じた効率的な運行が可能となる一方、導入や運用費用が多額となること、デジタル弱者への対応が必要なこと等整理すべき課題もある。これら課題を整理した上で実証実験についても検討したい。



宇土浩一郎
日本共産党

30分

自衛隊への名簿提供について

奈良県で18歳の高校生が名簿提供について裁判を起した。「自分の個人情報自衛隊に承諾なく渡っているのはおかしい。はがきが届いたことは怖い。」とのコメントが出ていたが、どう考えるか。

総務市

裁判のことは承知しているが、情報提供が問題ないことを確認している。自衛隊は地域の安全・安心確保に欠かせない存在であり、自衛官募集事務は関係法令に基づき適正に進めていく。



小松みさ子
公明党

30分

買い物困難者の支援について

北九州モデルの取組の中で、おでかけ交通の利便性向上が掲げられている。買い物困難者がスーパー等に出かけるための支援について、若松区では今、困っている地域があるのをごひ実施してほしい。

市長

同区での買い物支援に「おでかけ交通」や「買い物応援ネットワーク」等さまざまな施策の属性を踏まえ、地域の声を聞きながら、実現可能性も考慮しつつ総合的な観点から適切に対応していきたい。



富士川厚子
公明党

30分

学校体育館のエアコン整備について

子どもたちの未来を第一に考え、少しずつでも、既存校を含めた体育館のエアコン整備のため、国の空調設備整備臨時交付金を活用し、具体的なエアコン整備に着手する方針を示してほしい。

市長

未来を担う児童生徒にとって安全安心で快適な学習環境を整備することは重要と認識している。同整備については、新築校に加え既存校にも、漸次、進めていくことを目指し教育委員会と具体的に協議していきたい。

6月6日 一般質問



西田 一
自民党・無所属の会

60分

米不足への対応について

米価の高騰が市民生活を直撃している。政府による備蓄米の放出、随意契約等で米価は落ち着きつつある。本市としても生産者や消費者に混乱を来さないようにできる限りの対応をすべきである。

市長

本市では、米生産者が経営をできるような支援する一方で、お米の購入にも活用できる商品券の発行支援等の対策予算を計上した。引き続き生産者の経営安定や、消費者の負担軽減に取組む。



松尾和也
日本維新の会

30分

草刈り剪定業務委託について

同業務で、予定価格500万円以下の工事として入札が行われ、50%未満の落札額で随意契約した場合、総額数千万円に及ぶことが

ある。業者の負担とならないよう、最低制限価格の対象とすべき。

技術監

同業務において落札率が50%未満というものもあったが、その他はいずれも70%を超えており、受注者の経営状況で応札額は決まると認識している。本件について状況を認識中で、検証したいと考えている。



柳井 誠
緑の風

30分

バス停ベンチの増設について

市内のバス停のうち、ベンチが設置されているのは250カ所だが、福岡市は1000カ所である。同ベンチは市民の休憩場所でもあり、もつと数が必要である。同ベンチ増設について見直しを尋ねる。

市長

有効な歩道幅員が確保できないバス停もあるが、省スペース型のベンチを導入して改善に取組む。バスの待合環境の改善は公共交通利用促進にとって大切な取組であり、今後も利便性向上に取組んでいく。



岡本義之
公明党

30分

市営住宅管理者としての本市の対応について

空室増加と世帯の高齢化等が進み、敷地内の草刈り等清掃活動が困難となっている状況や、共益費の負担増大、町内会未加入世帯増による「コミュニティ希薄化」が危惧される。本市の対応について尋ねる。

都市整

草刈りの負担が大きい一部の団地等へは市が支援を行っている。一方、地域コミュニティ維持については関係局と連携して自治会加入を呼び掛けている。今後も入居率の向上や若年世帯の入居促進に取組む。

立山幸子
公明党
30分



環境局長 条例で新たな規制を設けることは是非、事業活動への影響等慎重な判断が必要と考える。現行制度の中で監視や指導・助言等を適切に行い、今後の需要や住民意識の動向を注視し、規制の必要性を含め研究したい。

八幡西区のまちづくりについて
国道200号の茶売町付近には、長い区間横断歩道がない。歩道橋はあるがバリアフリー化されておらず、高齢者や身体障害者の利用は困難で、5月には死亡事故が発生した。早期対策が必要である。

都市整備局長 道路を横断する歩行者にとって、横断歩道橋は安全性が高いが高齢者等の利便性を考慮すると平面的横断歩道がより望ましい。この周辺の横断歩道について、まずは地域の方や警察等関係者の意見を聞きたい。

本田一郎
北九州党
30分



観光都市への進化について

若松北海岸、南海岸の豊かな自然と文化を生かした観光振興のため、カフェを融合させた遊歩道の整備について見解を伺う。また、規制緩和の取組の進捗状況や具体的な計画について尋ねる。

都市ブランド創造局長等 遊歩道整備についてさまざまな課題がある。規制緩和に関しては、ハード面を中心に、事業計画の策定や、開発許可に向けた手続きを進めているものがあり、近々、新たな投資の具体化が見込まれている。

泉日出夫
市民とともに北九州
60分



移動火葬車によるペット火葬について

移動火葬車によるペット火葬業者と住民とのトラブルを未然に防止し、良好な生活環境を保全するため、他都市では条例が制定されている。本市でもペット火葬における条例が必要ではないか。

井上純子
変革と成長
30分



学用品を買わせない。共同使用の教育現場へ

市立小中学校では学習に必要な絵の具や彫刻刀等の個人購入が求められる、複数の子どもを通わせる家庭は金銭的負担や処分を繰り返してもつたない。学用品を貸し出す共同使用へ見直しはどうか。

教育長 学用品の学校と保護者の負担区分について、これまでも適宜見直しを行ってきた。今後も共同使用や選定については、引き続き見直しを図り、子どもたちが安心して学べる教育環境の充実に努めていきたい。

6月9日 一般質問

大石正信
日本共産党
60分



米の高騰対策について

米の価格が従来の2倍以上となり、家計に深刻な打撃を与えている。市として、銘柄米に半額程度の助成を行い、低所得者にお米券を配布するなど、何らかの対応をすべきと考えるが見解を伺う。

市長 すでに2月補正や令和7年度当初予算で生活

者等の支援として商品券の発行支援やクーポン券の配布を含めた物価高対策予算を計上した。市としては引き続き、消費者の負担軽減につながる支援に取組んでいく。

小宮良彦
まるまる戸八会
30分



市長 転入超過の要因として、若者には新規雇用創出が、子育て世代には子育てや教育環境向上等の施策強化が寄与したと考えている。転出超過が続く若者、特に女性に選ばれるまちになることを念頭に取組を進めたい。

市内の街路樹の清掃について
街路樹の清掃については、肉体的・精神的な負担がかなり大きい。街路樹近くで清掃される方々の高齢化も進み、毎日の作業には限界がある。有償ボランティアの活用について検討してはどうか。

都市整備局長 市民や企業が自発的に取組んできた道路サポーター制度は地域コミュニティ活性化につながる取組である。そのため有償ボランティアではなく、同制度の充実を図り官民連携で良好な道路景観の維持を目指したい。

小丸かずし
まるまる戸八会
30分



八幡東幼稚園跡地の維持管理について

同跡地は、周囲に緑豊かな自然環境と市立美術館等の文教施設を備えたエリアである。跡地の活用方法が決まるまでは、市と地域が協働し、安全上、防犯上も危険な場所にならないよう維持すべき。

教育長 同跡地の活用方法が決まるまでの間の維持管理については、周辺地域の安全確保の観点からも丁寧に対応する必要があると考えている。今後も地域をはじめとした関係者と連携しながら適切に対応していきたい。

伊崎大義
北九州党
30分



60年ぶりの転入超過の要因分析について

令和6年、60年ぶりに本市への転入者数が転出者数を上回った。その要因をどう分析しているか尋ねる。また、さらなる転入増加に向け、メイインターゲットとする移住者属性を設定すべきと考える。

伊藤淳一
日本共産党
30分



教職員の増員と処遇改善について

教員の異常な長時間労働は、子どもへの丁寧な対応を困難にし、教員不足の大きな原因となっている。教職員定数を抜本的に増やし、さらに、残業代不支給制度をやめるように国に強く求めるべき。

教育長 本市では独自の要望に

高齢者の健康づくり・社会参加について

佐藤栄作
自民党・無所属の会
60分



本市は政令市で最も高齢化が進んでいる。高齢者の地域での交流や活動は重要だが、夏場は熱中症リスクから活動を中止することもある。活動拠点となる公共施設のエアコン設置や更新補助を求める。

保健福祉局長 活動場所のエアコン設置等は施設の用途に応じ、施設管理者が行うのが基本と認識している。高齢者の地域交流の居場所づくりや、互いに支え合う活動を支援し、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めたい。

井上しんご
緑の風
30分



市長 昨年度までの事業で支援対象者の孤独や孤立を防げたのではないかと考えている。今年度は生活困窮者支援等で実績がある市社会福祉協議会を事業の委託先に加えることで体制を強化した。

河内温泉再開のビジョンについて
多くの方の協力で再開の署名が集まり、現地視察には24名が参加した。企業や市民からはさまざまな意見が出ており、市民主導で動き始めている。市長も日本初でオンラインワンビジネスを示すべき。

市長 河内地域は魅力的な自然資源として高いポテンシャルを有している。同温泉が体験型・滞在型観光を促進する拠点として再生され、地域活性化に資するように、利活用の実現に向け取組む。

森結実子
市民とともに北九州
30分



旧JR九州本社ビル売却について

同ビルは門司港の歴史や日本の近代化、鉄道史を象徴する貴重な存在である。なぜ文化財保護審議会での価値評価もせず売却することを決定したのか、見解を尋ねる。

都市ブランド創造局長 民間売却により同ビルの有効活用を図ることは、地域のさらなる活性化や地域の期待に応えることにつながると考えている。同ビルを民間の創意工夫で活用するという方針は、建物取得時から一貫しており、同審議会への諮問は考えていない。

中村じゅん子
市民とともに北九州
30分



本市の孤独死予防の取組について

本市が全国に先駆け取組んできた「いのちをつなぐネットワーク事業」に加え実施している「重層的支援体制整備事業」の昨年度までの移行準備の取組と、今年度全区で本格実施する内容を尋ねる。

たかの久仁子
公明党
30分



5歳児健診について

子どもは5歳前後になると、対人関係や言葉の発達の遅れ等が見えやすくなる。発達障害を早期に見出し、保護者や先生方の負担軽減につながるためにも、5歳児健診実施を検討してはどうか尋ねる。

子ども家庭局長 同健診の重要性は認識している。健診実施の検討について、他都市の状況を情報収集するとともに、市医師会や保育園、幼稚園等の関係機関と協議を進め、子どもの育ちを見守るための取組を進めていきたい。

廣田信也
公明党
30分



特別支援学校での福祉避難所の開設について

現状で同校の児童生徒は近くの避難所に一旦避難後、再度福祉避難所まで移動することとなる。また、特別支援学校は福祉避難所に指定されていないが、普段通っている学校を福祉避難所とできないか。

保健福祉局長 同校は在校生やその家族等にとって慣れ親しんだ場所である。教育委員会と連携し学校現場の意見を聞きたい。福祉避難所に高齢や障害等で配慮が必要な方が安心して避難できるように、受入体制の充実を図りたい。

よう、受入体制の充実を図りたい。

菊地公平
 自民党・無所属の会
 30分



給食残渣(ごんざ)に関する調査について
 コロナ禍以降、市内小中学校の給食における残食率が高止まりしている。その原因を分析するとともに、より効果的な処分方法を探るため、調理残渣を含めた残渣発生量の実態調査を行うてはどうか。

教育長
 全国の傾向と同様に、本市でも長期欠席者が増加しており、これが残食率高止まりの一因と考えられる。まずは一部の学校において、野菜くず等の調理残渣の発生量を調べることについて検討していきたい。

森本由美
 市民とともに北九州
 30分



マイナンバーカードの保険証利用について
 従来の国民健康保険証は8月以降使用できなくなるが、この変更点について市は、どのように周知するのか。資格確認書を、マイナンバー証を持っている人も含め一斉に交付してはどうか、併せて尋ねる。

市長等
 8月から従来の保険証が使用できなくなるため、マイナンバー保険証が資格確認書が必要となることを、市政日より等で周知する予定である。一斉交付については、国の見解等もあり、現実的には実施困難と考えている。

木畑広宣
 公明党
 30分



小倉北区のまちづくりについて
 清水ぎよみず(交差点)は、事故防止と市民の安心・安全確保のためにも、右折矢印信号の早期設置が強く求められている。現在の進捗状況と今後の見通しについて、市としての対応状況を探る。

市長
 同設置に関し、警察と協議を続けてきたところ、今年度、設置に向け内部で調整中との前向きな回答があった。同交差点の安全な交通環境実現に向け、警察への情報収集を密にし、信号設置時期の把握に努めたい。

中島隆治
 公明党
 30分



市内のマンション管理へ向けた今後の支援について
 市内のマンションには高齢年化が進み、さらに居住者の高齢化も進めば管理不全マンションへ移行する危険性があるものが少なくない。今後、管理体制維持や延命化支援にどう対応し強化していくのか。

都市戦 略局長
 今年度アンケート調査を実施し、管理組合が機能していないマンションには、個別訪問等により、適正管理への関心を促すとともに、専門家を派遣するなどして、管理不全に陥らないよう支援を展開していきたい。

永井 佑
 日本共産党
 30分



市営住宅へのLED照明導入は待たなし
 市営住宅の共用部分にLED照明が設置されている棟は11・1%で不十分である。全市営住宅の共用部分の照明と市が設置した照明器具本体はLEDに取り換え、共用部分は自動点滅式照明とすべき。

市長
 新築棟はLEDを設置しているが、既存棟では故障時の交換等で、蛍光灯とLEDが混在している。現状を調査のうえ、効率的な整備計画を作成し、2030年度の市有施設LED化目標に向け計画的に取組む。



上野照弘
 自民党・無所属の会
 30分



企業誘致と響灘南埠頭の混雑解消について
 若松区響灘地区は今後も企業の進出が進むが、響灘南埠頭は慢性的な混雑状態にあり、企業進出、企業活動に支障があつてはならない。企業誘致を進めるとともに、港の整備も一体的に考えるべき。

市長等
 同地区では半導体や蓄電池関連産業等に加え、環境・エネルギー産業のさらなる集積に取組んでいる。港の整備については北九州港長期構想策定や港湾計画の改定に関し、業界等の声を聞き適切に対応したい。

田中 元
 自民党・無所属の会
 30分



東九州新幹線について
 東九州新幹線建設促進期成会が設立され50年以上たっている。さらに機運を高めるために、起点である本市がイニシアチブを取る必要があるが、実現に向けてどのような協議を行ってきたのか。

都市戦 略局長
 本市としては、小倉ルートでの整備を福岡県と共有するとともに、大分県と宮崎県に対し、同ルートでの実現を目指すこと等を確認している。今後とも要望等、建設の実現に向け取組む。

吉田幸正
 自民党・無所属の会
 30分



アーバンスポーツタウン構想について
 都心でスポーツを楽しむ街を目指し、アーバンスポーツ関係団体を支援するため、わっしょい百万夏まつりに「アーバンスポーツゾーン」を設け、11月開催のスケートボード国際大会の告知をすべき。

市長
 市民に理解を深めてもらうため、地元の競技団体と連携を図り、まずは市民がアーバンスポーツに触れる機会を増やし、街全体で盛り上げる機運の醸成を図りたい。まつりでの取組発信は好機であり検討したい。

宮崎吉輝
 自民党・無所属の会
 30分



ごみステーション管理の在り方について
 地域社会への関心が薄れ、住民が協力し合う共助の意識も薄れている。「ごみステーションの管理は利用者自身が行わなくてはならない」という意識を根付かせていくことが重要と考えるが見解を伺う。

環境局長
 自分たちの手で管理するという意識の浸透と、責任ある利用の徹底が必要であり、より効果的な広報や啓発等を検討し働きかける。同時に、町内会等、維持管理の中心を担う方々の負担軽減や支援も進めたい。

議事堂見学のご案内

市議会では、市議会を身近に感じていただくため、議場の見学を受け付けています。申込方法等は、ホームページをご確認ください。

【問い合わせ先】
 ☎582-2622 FAX 582-2685



本会議等をライブ中継しています。

本会議等の模様をケーブルテレビ(11チャンネル)とインターネットでライブ中継しています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも視聴することができます。また、インターネットでは、過去1年分の録画放送が視聴できます。

※インターネット中継は、「北九州市議会のホームページ」からご覧いただけます。



【問い合わせ先】
 ☎582-2622 FAX 582-2685



市議会の虚礼廃止へのご理解を

公職選挙法では、次のことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと。
- 議員や後援会がお中元やお歳暮などをすること。
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと。(自筆の答礼は除く。)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること。



このほか北九州市議会では、**祝電**や**弔電**の**自粛**を申し合わせています。市民の皆さまのご協力をお願いします。

お知らせ

視覚障害(1級か2級)のある方に、市議会だよりの点字版、テキスト版CD、音声版CDなどを無料でお届けします。

【問い合わせ】市議会事務局政策調査課
 ☎582-2632 FAX 582-2685

●傍聴について
 市議会の活動状況を知るために、本会議や委員会を傍聴できます。乳幼児連れや、ご高齢の方にご使用いただける特別傍聴室もあります。



請願・陳情の審議結果

市政に関する要望があるときは、どなたでも市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

令和7年6月定例会では、陳情2件が不採択、請願2件、陳情32件が継続審査となりました。